

【男女平等について】

○男女の地位の平等感について～「学校教育の場で」平等と感じる人が最も多い

・全体でみると、「平等」と回答した人の割合は「学校教育の場で」39.8%、「家庭生活の中で」30.8%、「地域活動の場で」29.6%、「法律や制度の上で」26.4%、「職場の中で」18.8%、「政治の場で」11.5%、「社会通念・慣習などで」11.2%となっている。

・前回調査と比較すると、「学校教育の場で」15ポイント、「法律や制度の上で」6ポイント、「政治の場で」5ポイント、「社会通念・慣習などで」2ポイント下回っているが、「家庭生活の中で」は3ポイント、「職場の中で」は4ポイント上回っている。なお、前回調査では「地域活動の場で」という分野はなかった。

・「学校教育の場で」は「平等」と答えた割合が「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた“男性優遇”と答えた割合を大きく上回っているが、その他の分野では反対に“男性優遇”と答えた割合が「平等」あるいは“女性優遇”と答えた割合を大きく上回っている。特に“男性優遇”の割合が高いのは、「政治の場で」63.9%、「社会通念・慣習など」63.6%、「職場の中で」54.2%、「家庭生活の中で」45.6%の順となっている。

・前回の調査では、全ての分野において“男性優遇”と答えた割合が「平等」あるいは“女性優遇”と答えた割合を大きく上回っているという結果であった。

・男女別でみると、男性の方が女性より「平等」と答えた割合が高く、女性は「学校教育の場で」を除き“男性優遇”と答えた割合が高くなっている。

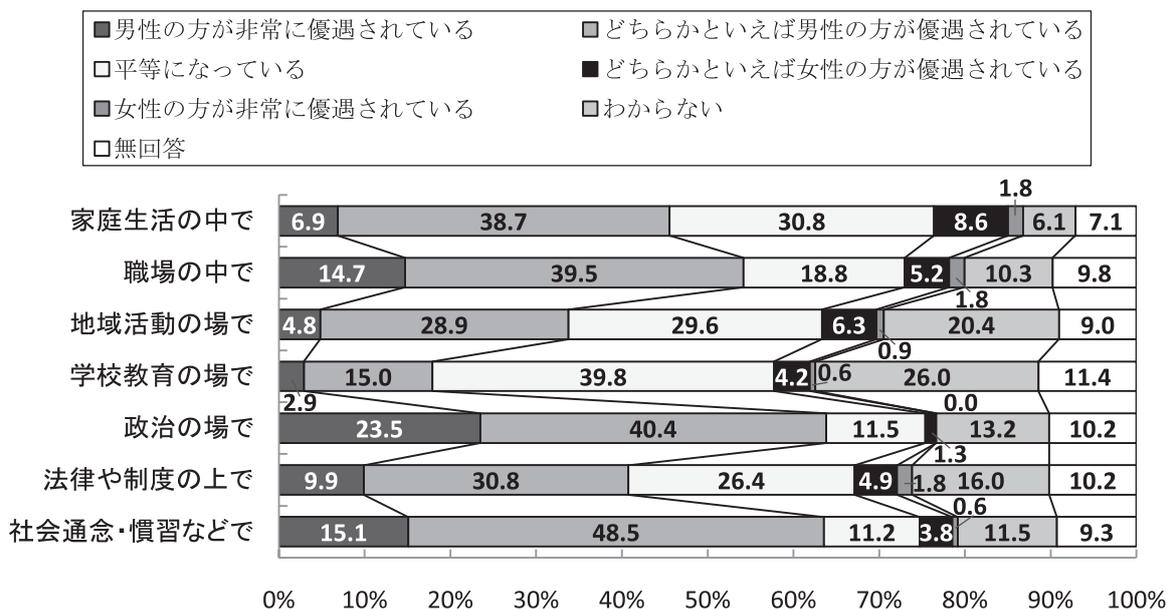
○「男は仕事、女は家庭」という役割分担意識について～“共感できない”が増加

・全体的にみると「どちらともいえない」と答えた割合が24.9%、「共感できる」が32.9%、「共感できない」が36.9%であり、前回の調査ではほぼ同割合だったのに対して、「共感できない」と答えた割合が“共感できる”と答えた割合を4ポイントほど上回っており、性別による役割分担意識が少しずつ解消されてきている傾向が見られる。

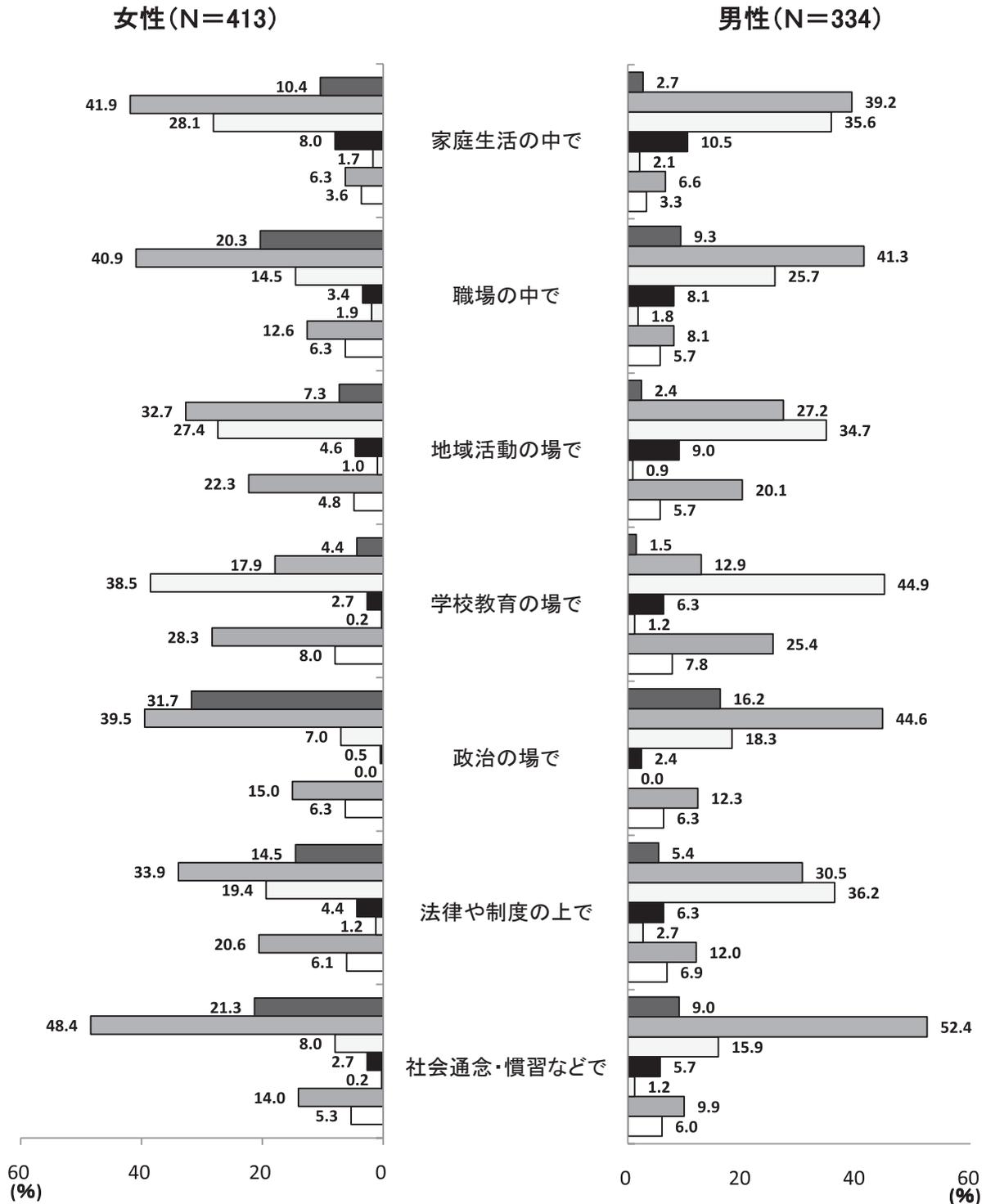
・男女別にみると、女性は“共感できない”とする否定派が44.6%と高く、反対に男性は“共感できる”とする肯定派が42.5%と高くなっており、男女間の意識の差が見られ、前回調査と同様の結果となった。

・「共働き家庭での家事や育児の役割分担」については、男女ともいずれの年代においても「どちらでも手の空いている方が家事や育児をすればいい」とする割合が高い結果となっており、前回調査と同じ傾向が見られた。

問1 次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(N=788)

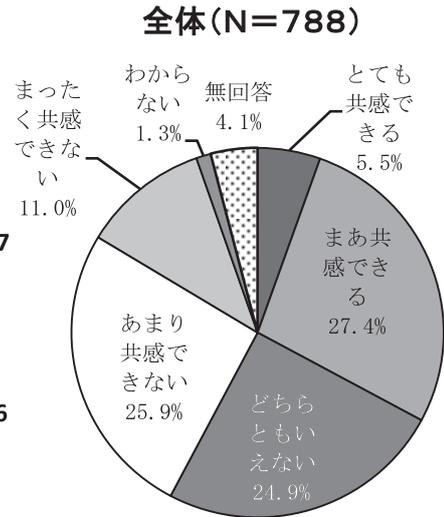
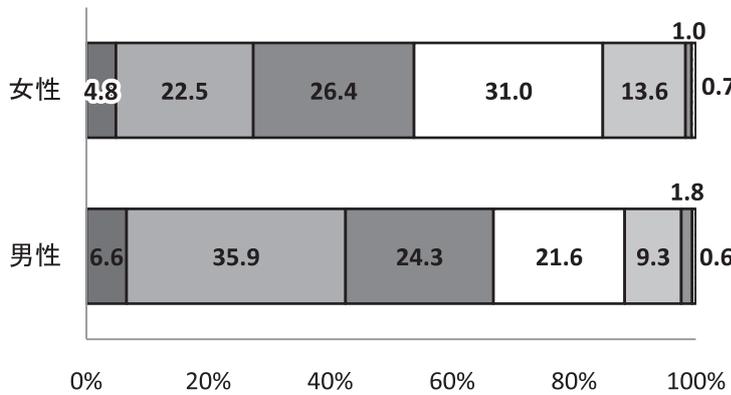
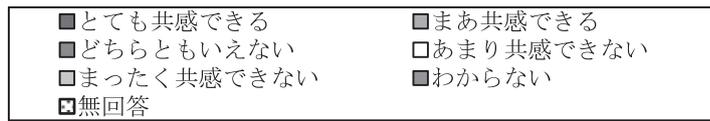


男女の地位が平等になっていると思うかについて—性別回答



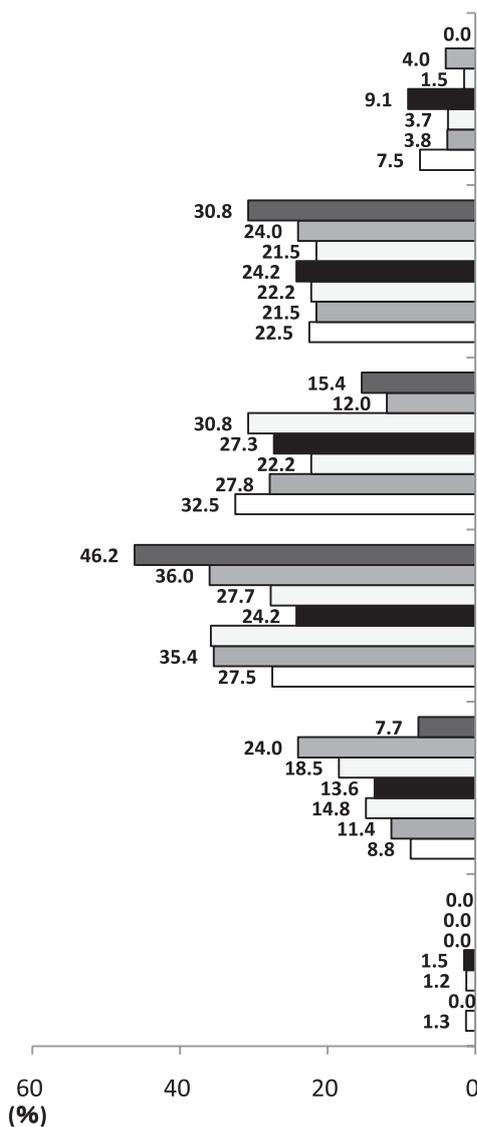
- 男性の方が非常に優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等になっている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- わからない
- 無回答

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方に共感できますか。(N=788)

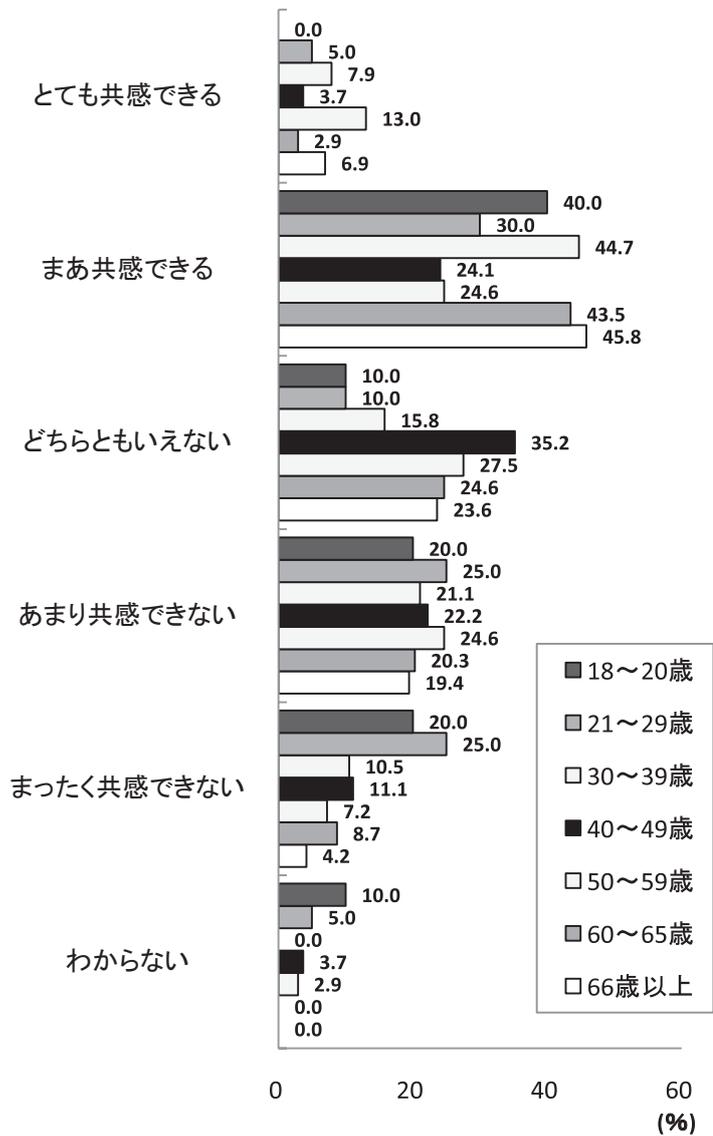


【性別・年代別回答】

女性(N=413)



男性(N=334)



問3 共働き家庭での家事や育児の役割分担について、どのように考えますか。

